

## 観光地の新たな足に注目

観光地の移動手段の一つとして電動キックボードや電動バイクなどの小型モビリティが注目されている。県内では菰野町観光協会が電動アシストの自転車や電動バイクをそろえた「菰ビリティ」で域内周遊を促し、県も「ニューノーマルに対応した環境整備の実証事業」として、鳥羽市相差地区で電動キックボードのレンタルサービスなどを実施中だ。

注目を集める理由は、二次交通の手段確保という面だけではない。環境に配慮したクリーンな観光地づくりにつながり、アクティビティの要素があるために移動そのものを楽しむ。自動車での移動が難しい狭い路地でも気軽に利用できることも力になる。

現状、原動機付き自転車に該当する電動キックボードは、法改正に向けた検討が進んでいる。利用年齢を16歳以上とし、最高速度時速20キロ以下で走行する車両は運転免許を不要とするなど、利用条件の緩和が図られる見通しだ。

課題も少なくない。気軽に乗ることができ、小回りが利くゆえに、事故が多発している。周りの人が電動キックボードの動線に慣れていないこともあるだろう。新たな「足」の普及にはルール整備・徹底が不可欠だ。ルールを守り、安全に旅行を楽しみたい。

(コンサルティング事業部 調査グループ 主任研究員 山崎 美幸)

朝日新聞「三重のけいざい ひと息コラム」 2022年2月21日